

# 木製書架

キハラの木製書架は丈夫さを追求して、ホゾ組み構造を基本としています。



- A型・B型・C型、組立式書架と豊富なラインナップが揃っています。
- 文庫・新書用、大型本用など、図書・資料のバリエーションに合わせたラインナップをご用意しています。
- 棚板の積載重量は40kg (JIS規格1種相当)です。

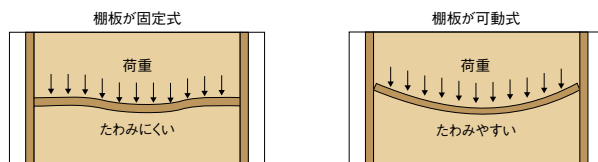
### 棚1段あたりの収納冊数

一般図書	約35冊
文庫・新書	約55冊
参考図書	約25冊
児童図書	約45冊

## 木製書架の特長

### ■一般的な棚板の固定式と可動式の違い

棚板が側板に固定されると書架全体の強度は増しますが、様々な判型の図書を分類順に配架していくと、少しのところでは入らない図書が出てきます。そのため棚板が上下方向に調節できる方が便利です。しかし棚板を可動式にすると、固定式の書架に比べて書架全体の強度が下がり、棚板自体の図書重量によるたわみも同一素材であれば5倍の差が出ます。



### ■キハラの棚板・可動金具の特長-1

レールは丈夫なアルミ合金押出材に、ピッチ12.5mmという細かさで棚板を調節できます。また棚板調整時の目安として、10ピッチごとにマークがついています。

通常のアルミカラー以外にも、別製色の棚受レールを承ります。  
○詳細は、お問い合わせください。

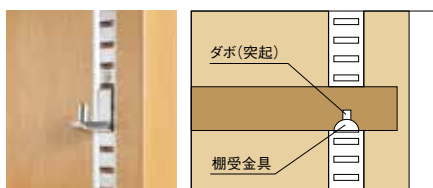


例) 棚割(単位mm) 棚板厚25tの時

図書寸法	A5判 148×210	B5判 182×257	A4判 210×297
棚内寸	225	275	312.5または325
隙間	15	18	15.5または28

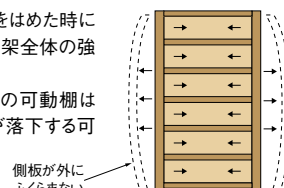
### ■キハラの棚板・可動金具の特長-2

半円状のステンレス製棚受金具にダボと呼ばれる突起を付けた金具を使用しています。地震時(震度7クラス)でも棚板が落下しないので安全です。

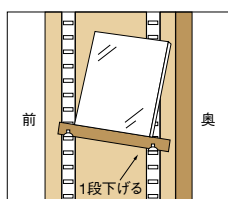


棚受金具のダボ部分が、棚板をはめた時に側板を引っ張る構造のため、書架全体の強度が上がります。

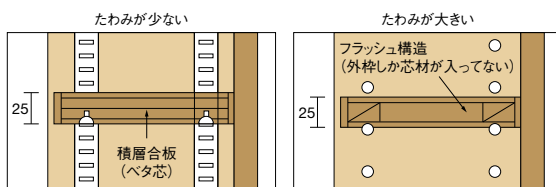
○棚受金具に乗っているだけの可動棚は側板が外にふくらんで棚板が落下する可能性があります。



奥の金具を1ピッチ下げることにより、傾斜棚として利用も可能です。こうすることにより、地震時の図書の落下を防ぎます。



フラッシュ構造をよく使用している一般用の家具のものに比べて、棚板は積層合板を使用しているため、書籍の荷重による曲げに対する強度をアップしています。



### ■地板取り外し式

地板はスライドさせて取り外せる構造となっており、転倒防止工事の床止めが可能です。

